



## 新年のご挨拶



埼玉県サイクリング協会 会長

衆議院議員 村井英樹

(内閣総理大臣補佐官)

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

2021年も昨年から引き続き、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、国内外に大きな影響を与えた年でした。会員の皆様におかれましても、日常生活の中で様々なご苦勞があったかと存じます。

こうした中、本協会では、様々な制約のある中、昨年5月、感性拡大防止対策に万全を期した上で、「第35回ハーフセンチュリーラン」を、10月には「第20回ハーフセンチュリーラン」開催し、無事、多くの皆様にサイクリングを楽しんでいただくことができました。

また、7月1日のタンデム自転車公道走行解禁に伴い、「タンデムパイロット養成講習会」を開催し、その周知に協力すると共に、12月には乗れない人の自転車教室を開催するなど、サイクリングの普及に大きく貢献することができました。

これもひとえに感染拡大防止対策に工夫を凝らしてご対応いただいた関係者の皆様をはじめ、会員の皆様のご支援とご協力によるものであり、改めてこの場を借りて御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の発生件数は昨年に比して低水準で推移しておりますが、まだまだ油断はできません。そのような中で、私たち自身が元気に暮らしていくためにも、日光を浴び、新鮮な空気を吸いながらサイクリングをすることは、健康維持に非常に有効な手段です。

私も国政の場において、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとする諸課題に全力で取り組むと共に、引き続きサイクリングを通じて健康長寿で豊かな社会をつくっていけるよう、全力で県内外の皆様にサイクリングの魅力を伝えて参ります。

最後に、会員の皆様の益々のご活躍を祈念し、SCAに対する温かいご支援に改めて感謝申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

## ○マップリーディング終了

恒例の県民体育大会・マップリーディング大会が11月14日（日）、協会指定コースで開催されました。今回も距離を短くしたのと質問を優しくしたので、全員がペナルティ無しでゴールしました。

＜一般の部＞ 敬称略

- 1位 六戸義一
- 2位 岩井美憲
- 3位 清水利明



## ○新春サイクリング

恒例の新年走りはじめのサイクリングを実施します。

日時 令和4年1月16日（日） 雨天中止

集合 9時 合同庁舎別館前 \*場合により庁舎駐車場が使えなくなることがあります。

コース 与野七福神巡り他（約20km）



## ○自転車に乗れない人の自転車教室おわる

さいたま市レクリエーション協会・さいたま市サイクリング連盟主催の乗れない人の自転車教室が12月12日（日）、大宮体育館及びサブグラウンドで開催されました。天気も良く師走にしては暖かく今回も多く喜びを共有しました。



## ○県レク功労賞

永年レク活動に携わった人に贈られ県レク協会の功労賞に藤田真さんが受賞しました。おめでとうございます。これからの活躍を期待します。

## ○年度内行事案内

- ・タンデム試乗会 2月23日（祝）羽生中央公園
- ・西来るフェスタ 3月12日（土）西区区役所
- ・タンデム試乗会 3月19日（土）県障害者交流センター



## ≒事務局だより≒

□令和4年度の会員受付は2月から行います。保険は2021年度と同じ金額で保障も同じになります。

### 【編集後記】

□コロナに明け暮れた1年でした。第5波の到来後少し収まってきていたが、このところオミクロン株が猛威を振るってきて、年始の出入が気になる日々です。協会のある庁舎も規制がかかり使いづらい状態になっています。駐車場の規制に加え、会議室も土・日は使用不可になっているため総会会場も取れず困惑しています。県の安全対策も場所によって違うので紛らわしく、きちんとした安全対策をした場合には使用を一部解除すべきです。タンデム車の公道走行解禁に伴い徐々に協会事業が増えつつあります。障害者にとって自転車に乗る機会ができたことは大変喜ばしいことですが、周りの環境づくり（タンデム車の認知度・道路環境等）が進んでいません。早急な取り組みを自治体に望みます。